

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	サニーウイング平島		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各専門分野の有資格者が在籍しているため、専門性の高い療育が行えている。	個々の子どもに対してアセスメントを行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で専門支援実施計画書を作成している。特に支援学校の児童に対する個別療育が自分で見て気付き行動できる物を用意している。	現状よりさらに個々のプログラムの充実をはかっていきたい。
2	室内には楽器やビリヤード台等アクティブスペースを設けており、室外では事業所所有の公園を持っている。また、ショートステイや日中一時支援事業も併設しているため、様々なニーズに対応できる。	日々様々な活動を通して経験を積み、人間関係・社会性の基礎を身に着け、自信をもって生活にいかしていける活動を行っている。	日々の活動の中で気になるものができた際、その道のプロと巡り合える機会の提供をしていきたいと考えている。
3	幅広い年齢層の女児童がおり、交流が広く安心して過ごせるため、女児童の利用のしやすさが高くなる。	手芸品や塗り絵、アイロンビーズ等で共通の趣味を通じて話をしやすい環境を提供している。また、女児特有の悩みを聞く職員がおり、定期的に面談をしている。	生活技術(料理、掃除、洗濯など)やIT技術の見聞を広げて未来の生活や仕事を見据えた活動を増やしていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	設備面の環境設定において工夫が必要などころがまだある。	構造上の問題	職員の目が届きつつ、クールダウンができる場所などで工夫すべき点はまだある。(イヤーマフ等の物品を用意している。)
2			
3			